



平野 勝澄 議員

6人が登壇

流雪溝整備や除雪体制充実の今後は
高齢者や障がい者への除雪支援の弾力化を

町長

- 町民の要望をききながら適切にすすめる
- 近隣を調査し検討する

議員 流雪溝整備について、真室川地区の今後の計画は。釜淵3区の要望のその後は。除雪車に関し、長沢前地区で除雪車が入れない町道の整備要望があるが。

討する。
議員 「農道」や「私道」は町として除雪可能か。除雪車オペレーター交代の際に、情報や技能の継承は十分か。

と経験の浅いものを組みにして指導しながら技術の向上を図っている。

見直しを含め検討する。
議員 町内会や個人等が自ら除雪機を購入し、地域の除雪作業に自主的に運用する場合、町としてなんらかの援助はできないか。

関する事業」を活用してほしい。

町長 流雪溝整備は東町1区の一部で平成26年度から2ヶ年で678mを予定している。釜淵3区は再度説明後、なお要望が多ければ試験的な通水を検討したい。長沢前は現地を調査して適当な方法を検討する。

議員 除雪については①幅員があり住宅が2軒以上、②堆雪場所があり融雪後は関係者が後片付けをする、③苦情・争議は関係者で解決する、④町道優先のため遅れても苦情を申し立てない、の条件を満たせば除雪している。オペレーターは熟練者

議員 福祉サービスの中に除雪支援事業、自力での除雪が困難な高齢者等に対する費用の補助があるが、玄関先から道路までの雪掘に弾力的な運用を容認する考えはないか。

町長 「コミュニティ助成事業」や「子どもや高齢者の見守り等に

議員 釜淵3区は再度説明後、なお要望が多ければ試験的な通水を検討したい。長沢前は現地を調査して適当な方法を検討する。

町長 近隣市町村の調査や関係者の意見聴取を行い、町の制度として適切で継続的に実施可能であれば要綱等の

議員 釜淵3区は再度説明後、なお要望が多ければ試験的な通水を検討したい。長沢前は現地を調査して適当な方法を検討する。

議員 釜淵3区は再度説明後、なお要望が多ければ試験的な通水を検討したい。長沢前は現地を調査して適当な方法を検討する。



冬の町民の暮らしを支える除雪事業。さらに充実を。

他の質問

経済的困窮者に対する介護保険、後期高齢者医療等の負担軽減について

■基盤整備事業への支援策は
■国道344号の早期復旧を



佐藤 正 議員

町長

- 採択申請をおこない、農業振興のため支援していく
- 復旧のためにできることは全ておこなう

議員 基盤整備の推進が及位、春木、平岡、安楽城地区で地域内のリーダーによる推進が急速に進んでいる。もっと加速させるため、町長の支援策について伺う。

町長 当町の基盤整備率は28・2%であり、著しく低い状況にあり、補助事業導入にかかる地元負担が優遇されているこの時期に、多くの地域で基盤整備に取り組むことを推奨している。基盤整備を推進している平岡、春木、真室川北部地区は、調査設計事業にかかる参加資格者の同意書が提出された、大沢地区においては急速に基盤整備の実施に向けた話題が拡大している。3地区は8月中旬に山形県に調査計画の採択申請を行っている。本年度中に採択申請が承認され

れば、平成26年度から平成28年度に「調査計画事業」と「事業計画の策定」をおこなう。この事業計画が国の審査を終了後、基盤整備実施にかかる補助事業の「採択申請」をおこない平成29年7月頃の国庫補助事業の採択を受け、事業着手となる。町の基幹産業である農業の将来を左右する重要な取り組みなので支援をする。

議員 地元住民の通勤に支障がある真室川町（高坂地区）側の国道344号線の復旧にたいする現在の状況と今後の施策について町長に伺う。



農業の効率化のために基盤整備



全面通行止の国道344号線

で落石等の危険があるため全面通行止めなり7月19日に吉村県知事、県土木整備部長、さらに最上総合支庁長、建設部長に状況を訴え、要望書を提出した。今後の見込みについて応急復旧の設計と入

札の準備をして年内中に通行可能なように努力をする。又、復旧のためにできることはすべておこなう。

11月がききたい

一般質問